

読者の質問箱

質問 夏になると毎年水不足で悩まされ 秋になると洪水が心配ですが いったい日本では水がほんとに不足なのでしょう か それとも余っているのでしょうか。(東京都 某学生)

解答 “液体の黄金”と外国ではいわれている水も 日本では“湯水の如く”というように無価値なものとして取り扱われておりました。このように外国と日本とはその見方の違いがそのまま反映して 一方では不足し 一方では余るというように水の真価を發揮できないのが現状であります。水には海水と淡水とあり 淡水には地表水と地下水があります。地表水は 日本のような急流河川の多いところでは 大雨が降れば川水が急激に増加するのは当然で 下流の洪水を防ぐには上流にダムを造って一時洪水を貯溜するか または下流の川幅を広げて水はけをよくする以外に方法はありません。しかしダムをつくるにはポケットが必要で またダムサイトの地質が良好でなければなりません。しかし日本の山地は地形が急峻でポケットは小さく また日本のように地質構造が複雑なところでは ダムサイトは地殻変動による断層 褶曲などが多く また凝灰岩質の岩石が発達しているため岩質が弱く これもまた良い地点は少ないのです。また河道を拡張または短絡すること

は 人家の密集している下流地域では実施しにくいという 自然条件と人為条件が重なって 川水は利用されることなく海に流出する結果になります。しかし表流の有効利用を最も妨げるものは いわゆる慣行水利権でありましょう。この極端な例は 旧農地が工場敷地または宅地化しているにもかかわらず依然として水利権を持っているもので 表流水の適正な再配分がなされれば たとえば 東京都の水不足などはたちまち解決されるでありましょう。

地質調査所の工業用水課では これまで全国のおもな地域について地下水の調査研究を進めてきましたが 地下水の量は決して豊富とはいえません。しかしその汲み上げ方と使い方によっては 1m³の水ももっと有効に使えるもので 地下水の供給量に適合した揚水を行ない その範囲内で汲み上げた水を最も効率よく利用するならば 地下水の揚水によって公害を起こし そのために工業用水法の適用を招いて 地下水のくみ上げ規制という措置がとられている 既成工業地帯のようなことは防げるものと考えられます。

もっともこれには 地下水揚水の自主規制等の強力な行政指導も必要であります。同時にこの裏付となる資料を全国的に用意しておかなければならないので そのための調査研究が行なわれつつあります。要は限られた水資源の有効利用であり この調査研究の成果をもとにした行政によって 水不足は解消できるものと思われます。(工業用水課 小西技官)



サウジアラビアへ出発の一行(羽田空港)

鉱物資源開発技術援助のため

奥海団長一行6名 サウジアラビア国へ出発

サウジアラビア国政府の招へいにより約1年半の予定で 同国の鉱物資源開発の技術援助のため地質部応用地質課長 奥海靖技官を団長とする一行6名は 去る9月26日羽田発のエア・フランス機で サウジアラビアのジェッタに向け出発した。

なお 一行6名は

地質・鉱床 奥海 靖(応用地質課長) 小村 幸二郎(鉱床部)
 畠中 武文(日室鉱業KK)

測量 磯 己次次 桑形 久夫(技術部測量課)

試 錐 加 藤 完(技術部試錐課)

○ 地質調査所 月報第14巻第7号

報 文

藤田 延男 高橋 綱:兵庫県西宮市工業用地下水調査報告
 村下 敏夫 野間 泰二 比留川 貴 小林 竹雄:徳島県吉野川
 下流平野の地質と地下水

野間 泰二 村下 敏夫:愛媛県西条市の工業用水源確保に関する考察

概 報

常磐炭田新第三系斜層理(長浜)

○ 地質調査所 月報第14巻第8号

報 文

安藤 武 黒田 和男 岡 重文:愛媛県上浮穴地方の地すべり調査

大津 秀夫 原田 久光:グリーンタフ地域における熱水性酸化鉄鉱物の産状について

大津 秀夫 島崎 吉彦 大町 北一郎:大堀鉱山産 stevensite について山形県大堀鉱山の鉱床学的研究(第2報)

概 報

清原 清人:九州北部 平尾台石灰岩層中の不整合について

資 料

モホロビッチ面 マグマの発生深度および超塩基性岩の分布について

地 質 ニ ュ ー ス

第110号 10月号

定 価 ￥ 170 円 12

昭和38年10月25日 発行

編 集

工業技術院 地質調査所

発 行 人

吉 富 保 重

発 行 所

株式会社 実業公報社

東京都千代田区九段4の11

Tel. (331) 7173-9387

振替口座 東京 32466

総発売元

政府刊行物販売所

東京都千代田区大手町1の5

Tel. (211) 5 5 7 0

印刷所

共同印刷株式会社